



株式会社ワッツ

(2735 東京証券取引所スタンダード市場)

2024年8月期決算と 2025年8月期業績予想について

2024年10月17日（木）

代表取締役社長執行役員 平岡 史生

目次



決算概要

2024年8月期の
連結決算について

P2 – P6

事業別

2024年8月期における
各事業の状況について P8 – P14

事業計画

2025年8月期業績予想と
各事業の取組みについて P16 – P25

参考資料

ワッツグループについて

P27 – P33



決算概要

2024年8月期4Q連結業績

(単位：百万円)

業績ハイライト	2023年8月期		2024年8月期(当期)			
		構成比		構成比	前期比	計画比
売上高	59,309	-	61,257	-	103.3%	101.8%
売上総利益	22,454	37.9%	23,590	38.5%	105.1%	-
販売費及び一般管理費	21,832	36.8%	22,344	36.5%	102.3%	-
EBITDA	1,369	2.3%	1,986	3.2%	145.1%	-
営業利益	621	1.0%	1,246	2.0%	200.5%	118.7%
経常利益	648	1.1%	1,228	2.0%	189.4%	122.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	250	0.4%	904	1.5%	360.8%	145.8%
1株当たり当期純利益(円)	18.46		68.45		370.8%	-

- ✓ **売上高**は、主に100円ショップ事業が堅調に推移し、前年同期比**3.3%増**、計画比101.8% →P3,9
- ✓ 雑貨仕入原価の改善、売上高雑貨構成比や100円以外の商品の売上高比率上昇による原価率低減効果により、**売上総利益率**は**0.7%上昇**。不採算店舗の閉鎖によるコストダウン等も加わり、**営業利益**は前期比**200.5%** →P4,5
- ✓ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、店舗損益良好により減損損失計上額が減少したこと、また、前年同期に大型不採算店舗の閉鎖コストを計上していたことから前期比**360.8%**



決算概要

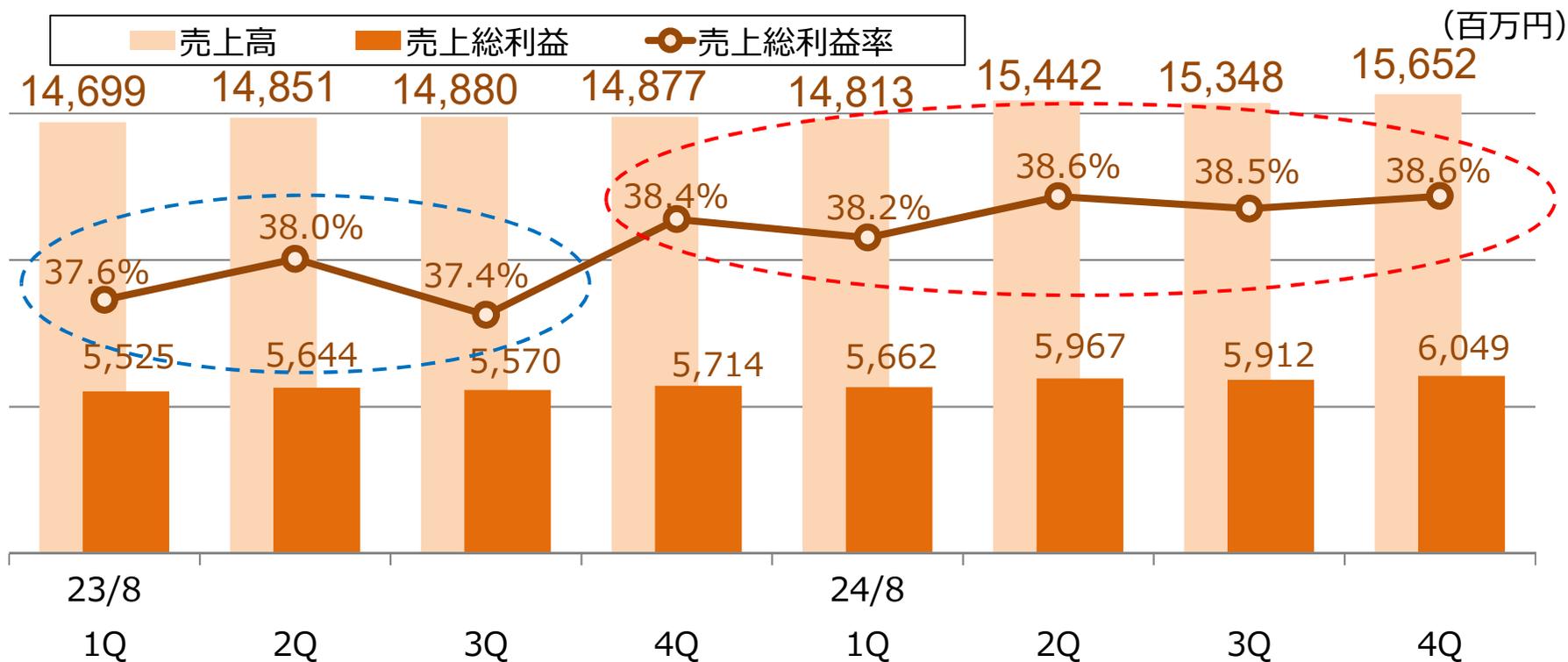
事業部門別売上高

(単位：百万円)

事業部門別売上高		2023年8月期		2024年8月期(当期)		
			構成比		構成比	前期比
100円ショップ	直営	52,996	89.4%	55,208	90.1%	104.2%
	卸その他	2,013	3.4%	1,891	3.1%	93.9%
	小計	55,010	92.8%	57,099	93.2%	103.8%
海外事業	直営	226	0.4%	116	0.2%	51.2%
	卸	987	1.7%	827	1.4%	83.8%
	小計	1,214	2.0%	943	1.5%	77.7%
国内 その他業態	ブオーナ・ビータ	3,084	5.2%	3,214	5.3%	104.2%
	リアル					
	ときのね 他					
合計		59,309	100.0%	61,257	100.0%	103.3%

- ✓ 国内100円ショップ事業における連結売上高に占めるシェアは0.4%増加（直営0.7%増加、卸その他0.3%減少）
- ✓ 海外事業の売上高は、引き続きコロナ禍以前の水準を下回っており、連結売上高に占めるシェアは0.5%減少

四半期別売上総利益率の推移



- ✓ 前期 3 Q以前は、外部環境の悪化に伴う仕入原価高騰、海外を含む卸売上高構成比の増加等により、売上総利益率が低下
- ✓ 前期 4 Q以降は、売上高雑貨構成比や100円以外の商品の売上高比率上昇により、売上総利益率が改善

※ 継続して仕入原価の低減が図れていた100円以外の商品に加え、当期は100円雑貨の仕入原価が改善



決算概要

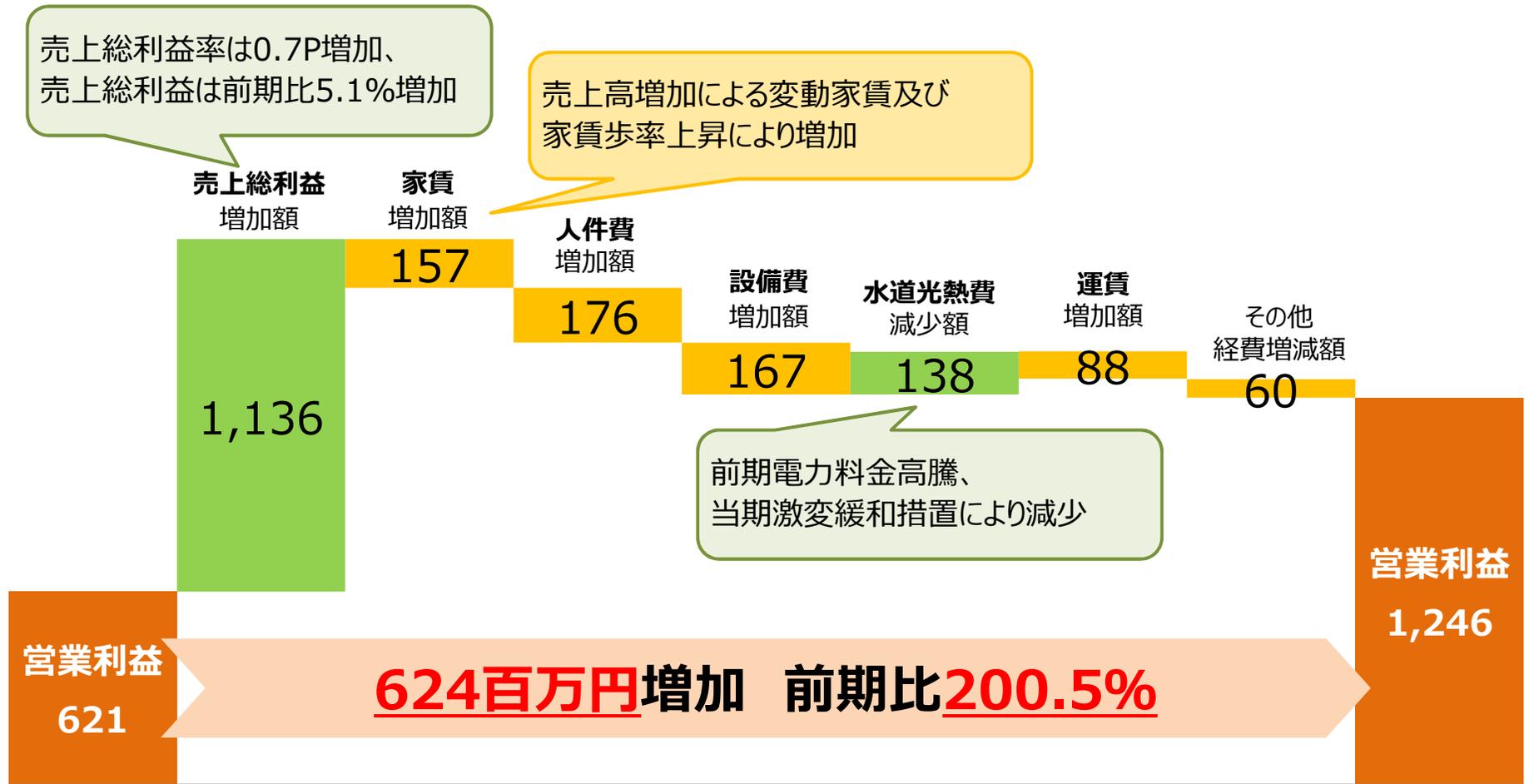
営業利益の増減要因

(百万円)

売上総利益率は0.7P増加、
売上総利益は前期比5.1%増加

売上高増加による変動家賃及び
家賃歩率上昇により増加

前期電力料金高騰、
当期激変緩和措置により減少



前期

当期

624百万円増加 前期比200.5%

連結貸借対照表と連結キャッシュ・フロー



(単位：百万円)

連結 貸借対照表	2023年8月期		2024年8月期(当期)	
		増減率		増減率
現金及び預金	5,646	8.4%増	9,380	66.1%増
商品及び製品	9,719	17.5%増	10,816	11.3%増
その他の流動資産	3,553	28.2%増	3,853	8.4%増
有形固定資産	2,011	38.9%増	2,072	3%増
その他の固定資産	4,557	30.6%増	4,158	8.8%減
総資産	25,489	20.0%増	30,280	18.8%増
負債	13,524	35.1%増	17,762	31.3%増
純資産	11,964	6.3%増	12,517	4.6%増

当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、決済に係わる科目に末日未決済残高が含まれております

- ・現金及び預金が3,733百万円増加
- ・負債が4,238百万円増加

- ✓ 商品及び製品が1,096百万円増加
- ✓ 自己資本比率は41.3%、前期末から5.6ポイント減少

連結 キャッシュ・フロー	2023年8月期		2024年8月期(当期)	
		増減額		増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	221	△1,500	4,043	3,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△667	307	△538	129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△633	△304	233	866
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	△62	△5	△43
現金及び現金同等物の期末残高	5,646	△1,041	9,380	3,733
フリーキャッシュ・フロー	△446	△1,193	3,505	3,952

- ✓ 営業活動によるC/Fは、仕入債務の増加額が2,735百万円、税金等調整前当期純利益が873百万円増加
- ✓ 財務活動によるC/Fは、長期借入による収入が700百万円増加
- ✓ フリーC/Fは、3,952百万円増加

目次



決算概要

2024年8月期の
連結決算について

P2 – P6

事業別

2024年8月期における
各事業の状況について P8 – P14

事業計画

2025年8月期業績予想と
各事業の取組みについて P16 – P25

参考資料

ワッツグループについて

P27 – P33

事業別

事業別トピックス



国内100円ショップ事業

	出退店の状況	店舗数： 1,812店 （2024年8月末時点） 通期計画（出店160店、退店120店）に対し、 出店156店、退店113店（ 43店純増 ） ➡P10
	Wattsブランド店舗	136店純増の 1,383店 100円ショップ全店に占める割合は76.3%

海外事業

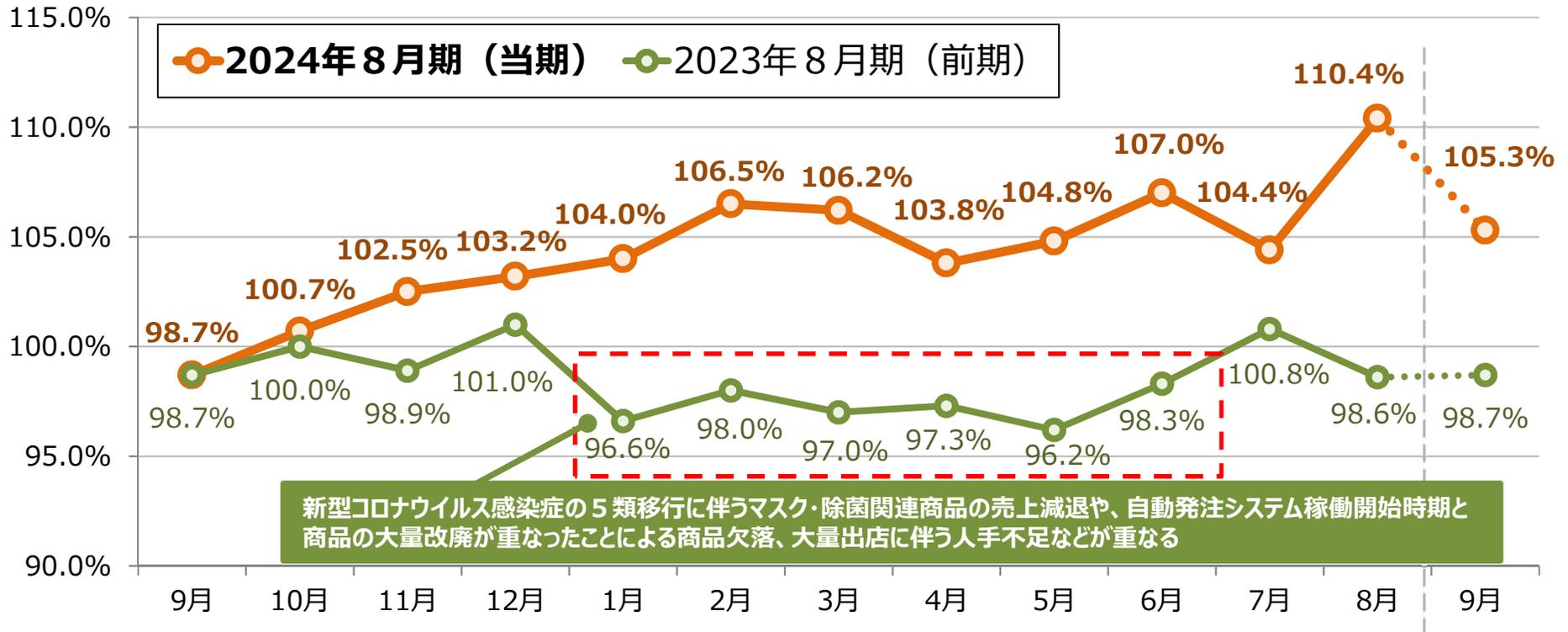
	海外店舗数	当社グループで、当社商品を取り扱う店舗は 23店 （16店減） ➡P12
--	-------	---

国内その他事業

	Buona Vita (ブォーナ・ビィータ)	心地よい生活を提案する雑貨店を 12店 展開、 既存店対前年同期比は103.7%と好調 ➡P13
	リアル	地域密着型のディスカウントショップ。 7店 展開 100円ショップ事業とのシナジー効果創出を図る ➡P14

事業別

100円ショップ事業の状況① ～既存店売上高対前年同月比の推移～



通期累計	売上高	客数※	客単価※
当期	104.4%	100.8%	103.9%
前年同期	98.5%	97.6%	101.4%

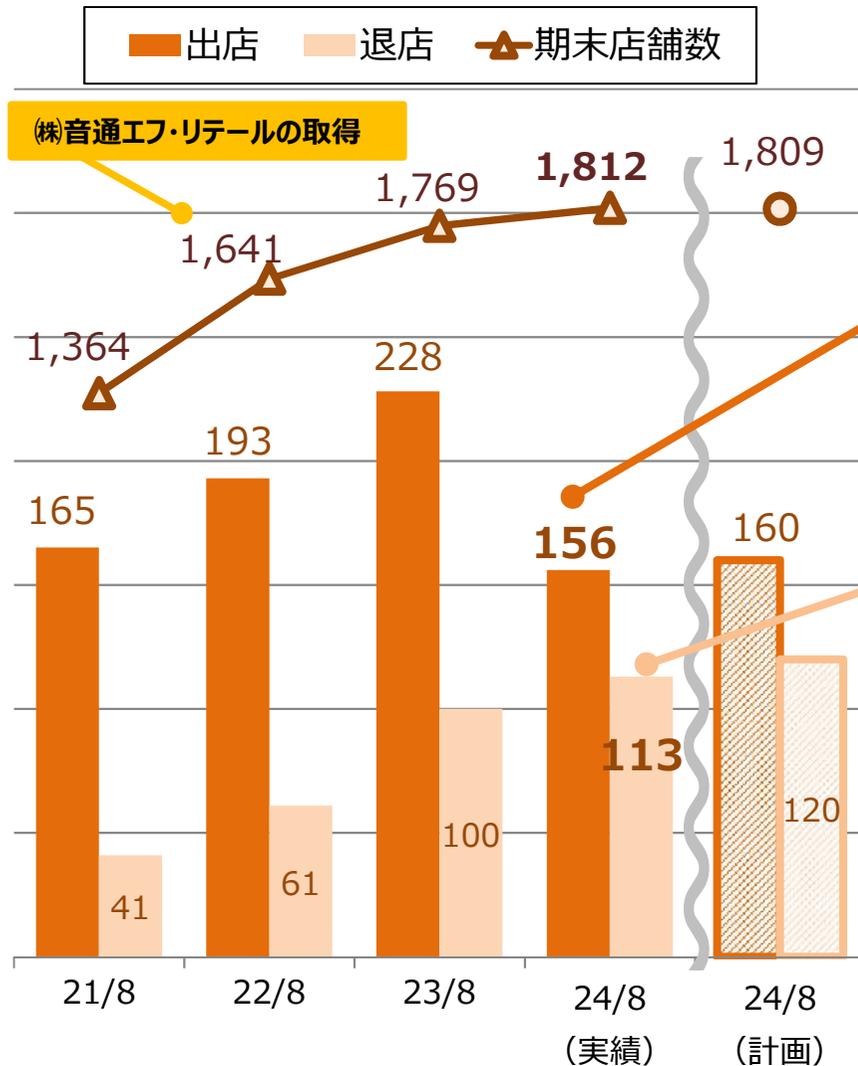
※客数・客単価はテナント型店舗のみで算出

- ✓ 物価高で節約志向が高まる中、お買い得感のある商品の売上高が伸び、既存店売上高対前年同期比は、通期104.4%と回復
- ✓ Wattsブランドの対前年同期比は105.3%

事業別

100円ショップ事業の状況②

～出退店計画数と店舗数実績～



出退店計画と実績

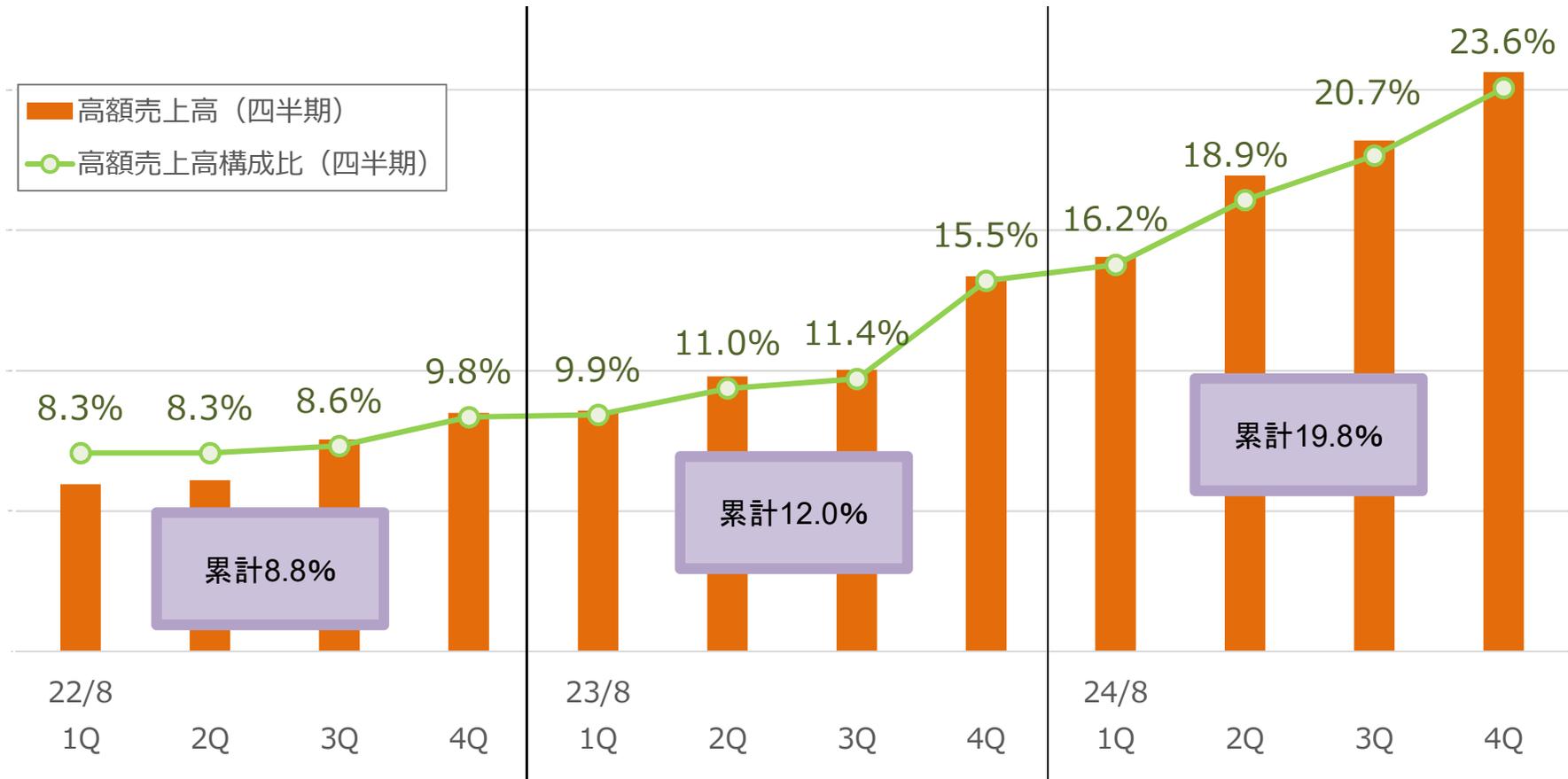
出店計画 160店 → **156店**出店

退店計画 120店 → **113店**退店

- ✓ 純増計画40店に対し、**純増43店**
- ✓ 出店の内訳は、テナント型14店、委託型142店と出店の中心は委託型
- ✓ 全1,812店の内、Wattsブランド店舗は、1,383店 (136店純増)

100円ショップ事業の状況③

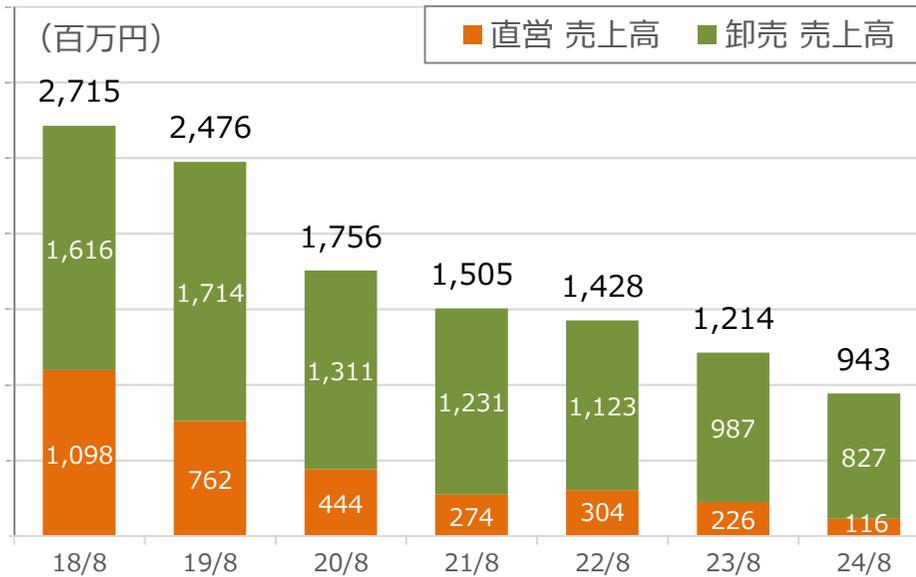
～テナント型店舗の高額売上高と売上シェアの推移～



- ✓ 高額商品数は、足許4,491アイテム
- ✓ 売上高構成比20.0%を目途に、商品を入替つつ粗利率の高い高額商品の拡充及び確保を図る

事業別

海外事業の状況

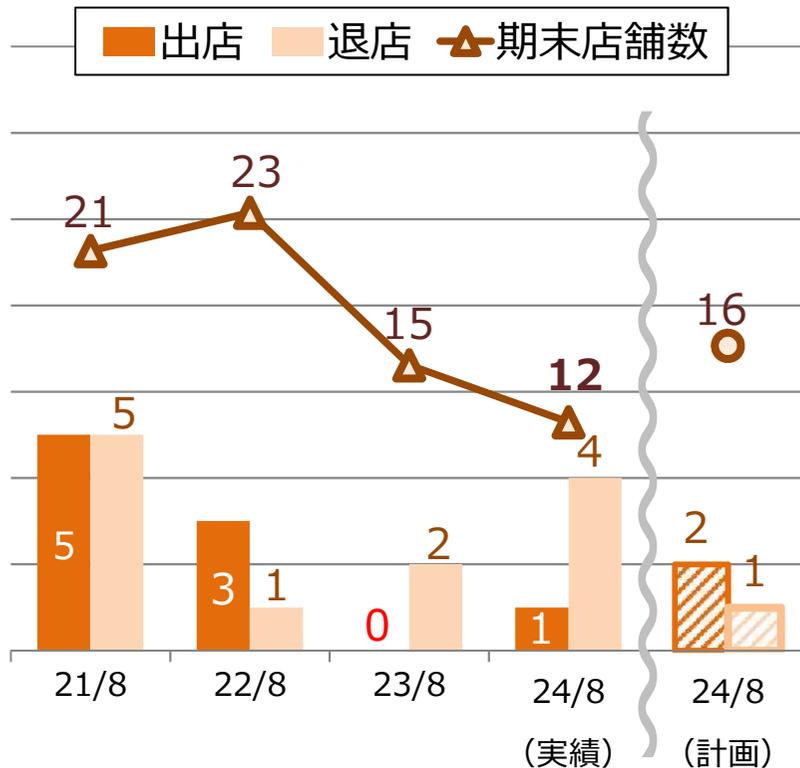


国名	出店形態	出店	退店	店舗数 (24/8)
タイ	FC	-	11	14
中国	FC	-	-	4
ペルー	直営	-	5	5
合計		-	16	23



高額雑貨を中心とした「Watts.up+」はタイの店舗でコーナー展開

- ✓ タイは、14店舗展開（11店舗減）
ペルーは、5店舗展開（5店舗減）
- ✓ 海外向け出荷量がコロナ禍以前の水準に戻らず、海外事業として減収



2022年9月1日付で、ブオーナ・ビータを営む
ワッツ・コネクションをワッツ東日本販売へ吸収合併

※当社100円ショップ内への委託販売型6店舗は店舗数から除外



ブオーナ・ビータ イオン新浦安店 (千葉県)

- ✓ 2024年8月末現在、**12店舗**
- ✓ 外出需要増によりウェアやバッグ等の販売が好調に推移し、既存店売上高の対前年同期比は 103.7%



事業別

「リアル」、 「Tokino:ne」の状況



- ✓ 同社の強みである商品調達力を活かして、お買い得な商品を幅広く展開
- ✓ 当社100円ショップとのコラボ店舗を3店舗運営し、事業間のシナジー効果を創出
- ✓ 2024年8月末時点で **7店舗**



- ✓ 朝・昼・夕・夜をゾーンで分け、各時間帯で必要な商品を集めており、お客様それぞれのルーティーンをイメージしながら楽しくショッピングができるように工夫



- ✓ 当社100円ショップ店舗内でコーナー展開し、シナジー効果を創出

目次



決算概要

2024年8月期の
連結決算について

P2 – P6

事業別

2024年8月期における
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

**2025年8月期業績予想と
各事業の取組みについて**

P16 – P25

参考資料

ワッツグループについて

P27 – P33



(単位：百万円)

業績予想	2023年8月期			2024年8月期			2025年8月期(予想)		
		構成比	前期比		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	59,309	-	101.6%	61,257	-	103.3%	62,000	-	101.2%
売上総利益	22,454	37.9%	100.8%	23,590	38.5%	105.1%	-	-	-
販売費及び一般管理費	21,832	36.8%	102.6%	22,344	36.5%	102.3%	-	-	-
営業利益	621	1.0%	62.3%	1,246	2.0%	200.5%	1,350	2.2%	108.3%
経常利益	648	1.1%	56.5%	1,228	2.0%	189.4%	1,300	2.1%	105.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	250	0.4%	32.1%	904	1.5%	360.8%	950	1.5%	105.1%
1株当たり当期純利益(円)	18.46		-	68.45		-	72.18		-
ROE	2.10%		-	7.40%		-	7.77%		-

- ✓ 100円ショップの出退店計画
【出店】152店 【退店】89店
純増計画数 63店
- ✓ 100円ショップ既存店売上高は通期で**前期比102.0%**と見込む
- ✓ 100円ショップ事業の売上高が堅調に推移する見込みであり、増収計画
- ✓ 雑貨売上高構成比率、100円以外の商品の売上高比率上昇を図る施策等の継続により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益計画

持続的な価値向上に向けた取組み

～PBR・ROEの推移～



現状分析

【PBR】

5年間の平均値:0.8倍
直近3期連続1倍割れで推移

【ROE】

5年間の平均値:6.5%
株主資本コストを上回る水準

対応

PBR改善

➤ 持続的な企業価値向上に向けた経営の実現



ROE改善

➤ 株主資本コストを上回るROEの維持及び向上



PER向上

➤ ROEを保った状態でPER向上を図る

持続的な価値向上に向けた取組み

～ROE・PERの改善策～



現状分析/課題

【ROE】
5年間の平均値:6.5%

株主資本コストを上回る水準
2024年8月期は7.4%
安定的な10.0%水準を目指す

WACC:2~4%
株主資本コスト=3.1~4.3%

【PER】
5年間の平均値:17.1倍

2024年8月期は11.0倍

対応/改善策

➤ 株主資本コストを上回る
ROEの維持及び向上

● 財務施策実行

● 株主資本適正化

◆ 売上総利益率の改善

・100円以外の価格帯の売上高比率を高める

◆ 営業利益率の改善

・不採算店舗の閉鎖
・委託型中心の出店
・セルフレジ、自動発注システムによる人件費削減

◆ 株主還元と事業投資の両立

・安定配当の継続、自己株式の取得及び消却
・適正な人的投資、成長投資の実施

➤ ROEを保った状態で
PER向上を図る

● 株主資本コスト低減

● 成長期待向上

◆ IR/SRの強化

・株主との対話の促進及び取締役会での共有
・各種説明会の開催
・自社IRサイトの回遊性維持及び向上

◆ PR活動の強化

・ワッツオンラインショップ、ワッツ公式アプリ等による
情報発信の充実



いい商品を安く 売る仕組みづくり の追求を継続

- ✓ ローコスト出退店
- ✓ ローコスト・オペレーション
- ✓ お買い得な実生活雑貨
- ✓ POSシステムの活用と自動発注化への対応強化

100円ショップ事業

他業態とのミックス 店舗の開発・展開

- ✓ 「Watts」「Watts with」出店モデルの一層の深化
- ✓ その他業態を活用したグループシナジーの創出
- ✓ 更なる成長のためのM&Aも検討

進出国ごとの ビジネスモデル確立

- ✓ ウィズコロナ環境下での既存事業の一層の伸長
- ✓ 海外パートナーとの共同事業の構築
- ✓ 既存の経営資源を活かした異業種とのコラボ

海外事業



その他業態

業容の拡大と 収益源の多角化 を図る

- ✓ グループECチャネルの抜本的強化
- ✓ M&Aを含めた、新たな可能性の捕捉

100円ショップ事業の取組み①



高額商品の取扱い



- ✓ 高額商品（100円以外の価格帯商品群）の取扱いにより、商品の充実・売り場の活性化を図る
- ✓ 取扱店舗を委託販売型店舗にも積極的に拡大し、グループ全体の粗利率改善へと繋げる
- ✓ 2024年8月期末4,491アイテム
売上高構成比25%・5,000アイテムを目途に拡充及び導入を進める（より付加価値が高い商品に入替える）

コラボ出店

- ✓ ファッション雑貨店「Buona Vita」やおうち雑貨店「Tokino:ne」等のコーナーを展開し、グループ事業間でのシナジー効果創出に取り組む





フレッツ店舗のワッツ化改装

- ✓ レイアウトの変更、雑貨アイテム数の増強を図る
- ✓ 一部の店舗では、雑貨の売上高構成比が上がるとともに、全体の売上高も大きく伸びる等の改装効果が出ている
- ✓ 成功例を横展開することで、大型路面店の収益性改善につなげる





フルセルフレジの導入



- ✓ キャッシュレス決済と現金払いに対応した、フルセルフレジを2024年8月末現在112店舗で稼働（キャッシュレス専用セルフレジを含めると148店舗で稼働）フルセルフレジの導入を進める
- ✓ 精算業務の効率化・省力化により生産性を向上させ、削減した人的リソースをお客様満足度向上へ
- ✓ 会計の待ち時間を減らし、ピーク時の列解消へ（機会損失の減少）

POSデータの活用



- ✓ 滞留商品を削減し、売れ筋商品や新規商品に入れ替えることで売場の商品鮮度を高める
- ✓ POSデータを活用した販売分析を基に、立地や客層に合わせた店舗モデルを確立していく
- ✓ 自動発注システムをテナント型ほぼ全店へ導入し、自動発注率は75%前後で推移。更なる改善により、効率化を進める



タレントとのコラボ商品



- ✓ テナント型店舗にて、タレントの藤本美貴氏とのコラボ商品の販売を開始
- ✓ 第1弾「入園入学」、第2弾「ピクニック」に続き、第3弾「おソロコーデ」を展開中

Watts+
FUJIMOTO
MIKI



現在3児の母で
タレントとして活躍する
「ミキティ」と藤本美貴さんと
コラボレーションした
アイテム第三弾が登場。

COLLABORATION
CONCEPT

“ワントーンで彩る
シンプルライフ”

大人の女性でも持ちやすい
商品ラインナップを展開。



コラボレーションロゴ入りの
商品タグが目印

オリジナルコスメ「fasmy」



fasmy
ファスミー
fast face first my

CONCEPT

気楽に選べる、自分だけのコスメ




塗るだけ簡単 マスカラ/自眉ティント check



びたっと密着 艶ラメアイシャドウ check

- ✓ 歌手/ストリーマーのはなうた氏をアンバサダーに迎え、プチプラコスメ「fasmy」シリーズの販売を開始



ワッツオンラインショップ



- ✓ 店舗受け取りの対象店舗を全国展開開始
- ✓ 100円ショップ商品だけでなく、ワッツグループブランドやオンラインショップ限定商品も取扱い

SNSの活用



Instagram



・ワッツ公式YouTubeチャンネル



- ✓ 当社認知度向上のツールとして活用



KOMONOYA
OSAKA JAPAN



KOMONOYA
OSAKA JAPAN

【海外事業】

- タイ事業の構造改革、ペルー事業の黒字化施策の展開
～不採算店舗の閉鎖、固定費削減等
- 海外新パッケージ「Watts.up+」の拡大(店舗内コーナー展開)
- 新市場の開拓と既存市場の活性化



Buona Vita
フオーナ・ビータ

【Buona Vita】

- 100円ショップ内でのコーナー展開のレベルアップ
- POSデータを活用した売場作り

【リアル】



リアル



リアル+ Watts

- フレッツ直営店からの切替え店舗の強化
- 100円ショップとのコラボ店舗のブラッシュアップ～100円商材とリアル商品群との効率的な売上比率の確立による粗利率の改善

【ニッパン】

- 主力定番商品（特に医療機関向け）の在庫を確保及び機会損失の防止



NIPPAN
ニッパン

目次



決算概要

2024年8月期の
連結決算について P2 – P6

事業別

2024年8月期における
各事業の状況について P8 – P14

事業計画

2025年8月期業績予想と
各事業の取組みについて P16 – P25

参考資料

ワッツグループについて P27 – P33



国内100円ショップ事業



海外事業



国内その他業態



その他事業の概要



2024年8月末現在12店舗



心地よい生活を
提案する雑貨店
「フォーナ・ビータ」



時間をテーマにしたおうち雑貨店
「Tokino:ne」1店舗展開
別途、100円ショップテナント型店舗に
コーナー展開



100円ショップと食品スーパーの
コラボ店舗



地域密着の小型
ディスカウントショップ

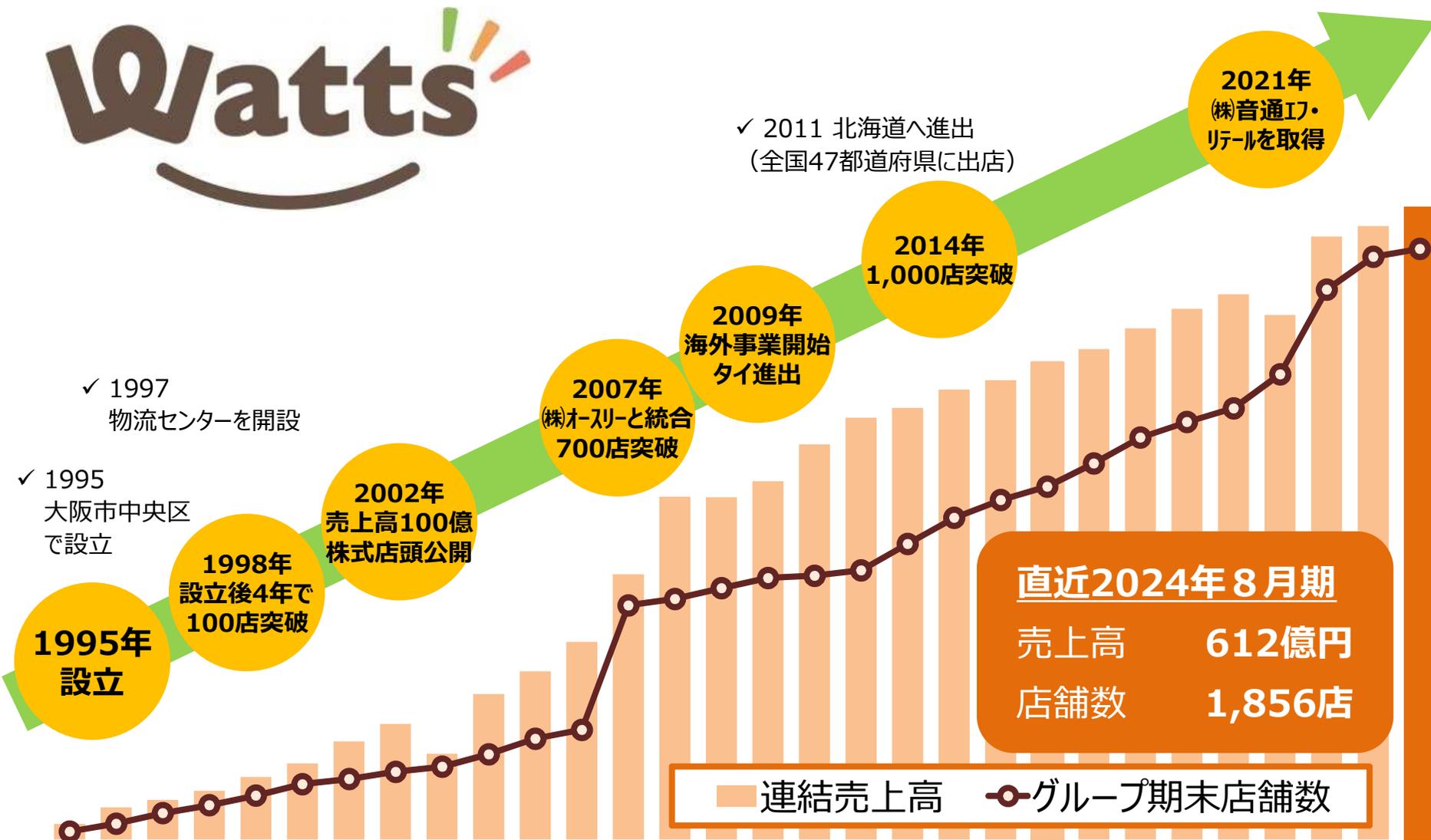


100円ショップとのコラボ
店舗3店舗を含み、
2024年8月末現在7
店舗展開





設立	1995年2月22日（現在は、第30期）
社名の由来	おもろいことを「ワッ」とやろう！
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード: 2735)
資本金	4億4,029万円
本社所在地	大阪府中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階
主な業務	日用品・雑貨の卸小売業 (主に 100円ショップの運営)
グループ従業員数	3,339名（2024/8/31現在） ※パート・アルバイトを含む
グループ店舗数	1,856店（2024/8/31現在） ※その他店舗を含む



サステナビリティ/ESGの取組み



環境に関する取組み

- ✓ 環境に配慮した再生素材を原料にしたサステナブル商品の開発



ガバナンス

- ✓ 経営環境の変化に常に対応できる柔軟かつ強固な経営基盤を構築し、永続的な成長が可能な企業経営を目指す

詳細は、弊社ホームページをご確認ください
<https://ir.watts-jp.com/sustainability/esg/governance/>

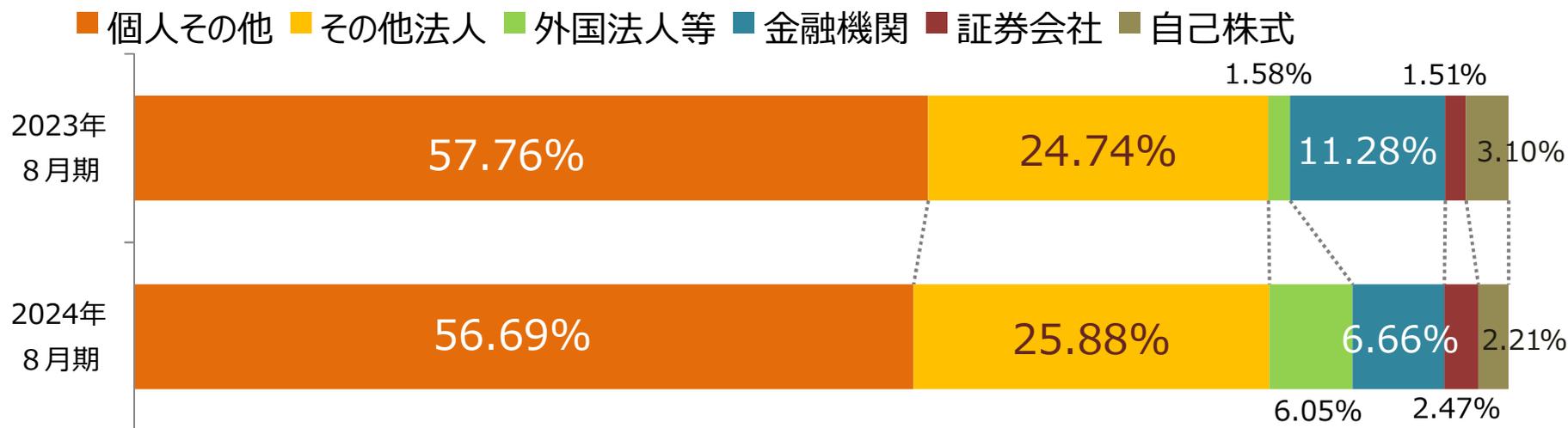
人材に関する取組み

- ✓ 【ダイバーシティ】
性別・国籍等を問わず、本人の能力や適性に基づいた人材の登用、多様性の確保を進める
女性管理職比率は8.9%（2024年8月期）
- ✓ 【ワーク・ライフ・バランス】
有給休暇、男性の育児休暇取得等を推奨し、働きやすい職場環境を作る
- ✓ 独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへ投資
（第72回日本学生支援債券）

ソーシャルボンドとは

社会的課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券

株主構成



	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	前年同期末比
発行済株式総数	13,898,800株	13,898,800株	13,458,800株	△440,000株
株主数	23,704名	18,504名	13,916名	△4,588名
個人その他	62.43%	57.76%	56.69%	△1.07㊦
その他法人	24.71%	24.74%	25.88%	+1.14㊦
外国法人等	0.83%	1.58%	6.05%	+4.47㊦
金融機関	9.47%	11.28%	6.66%	△4.62㊦
証券会社	0.21%	1.51%	2.47%	+0.96㊦
自己株式	2.32%	3.10%	2.21%	△0.89㊦

- ✓ 自己株式消却により、発行済株式総数が440,000株減少
- ✓ 株主数は、前年同期末から4,588名減少（外国法人等所有比率が4.47㊦増加）

(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

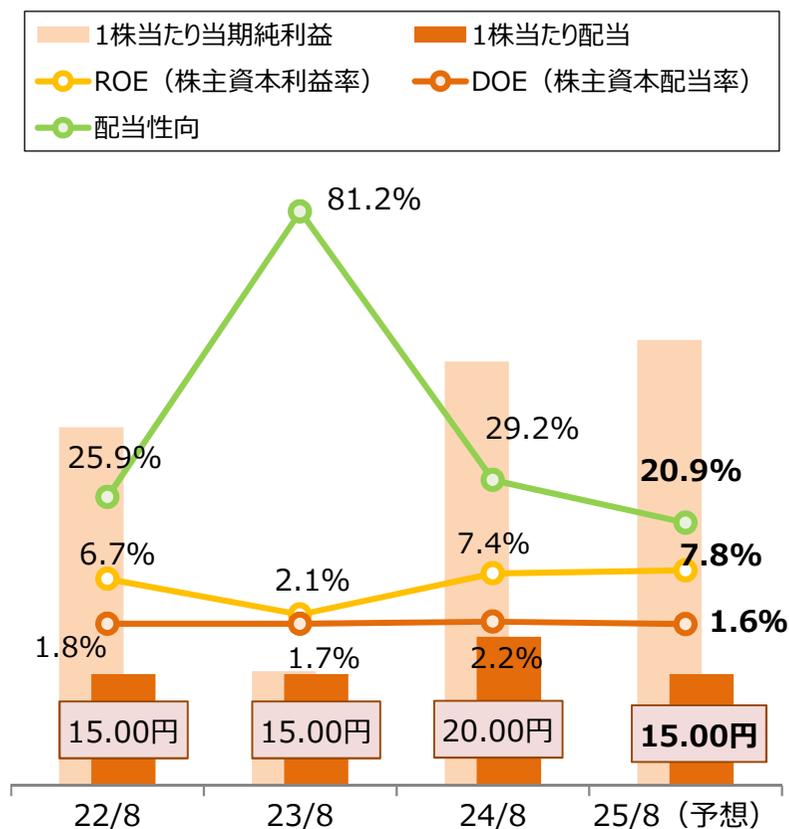
配当政策



「減配せず持続的かつ安定した配当を継続して行う」

ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。

※2025年8月期より、新たに中間配当を実施いたします



	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期 (予想)
1株当たり当期純利益	57.83円	18.46円	68.45円	72.18円
1株当たり配当金 (年間)	15.00円	15.00円	20.00円	15.00円
中間配当金 普通配当	-円	-円	-円	7.50円
特別配当	-円	-円	-円	-円
期末配当金 普通配当	15.00円	15.00円	15.00円	7.50円
特別配当	-円	-円	5.00円	-円
配当性向	25.9%	81.2%	29.2%	20.8%
配当利回り	2.1%	2.4%	2.7%	1.9%
ROE (株主資本利益率)	6.7%	2.1%	7.4%	7.8%
DOE (株主資本配当率)	1.8%	1.7%	2.2%	1.6%

※ 各事業年度の配当利回りは決算基準日の株価で算出
(2024年8月期配当利回りは8月31日の株価で算出)

✓ 2024年8月期は、普通配当15円00銭に特別配当5円00銭を加え、合計20円00銭



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 取締役常務執行役員経営企画室長 森 秀人

e-mail：ir@watts-jp.com

TEL： [06-4792-3280](tel:06-4792-3280)